



健康な体
誠実な心
豊かな知性



尾張旭市立東中学校
学校だより
令和2年度 第8号

The best way to cheer yourself up is to try to cheer somebody else up.



「誰か」のことじゃない。

12月4日～10日は「人権週間」。尾張旭市では、12月25日までが「人権月間」になります。誰もがもつ人間として生きる権利である「人権」。普段の生活の中で、自分の発した言葉や行動によって「相手がどう思うか」「傷つけたりしないだろうか」と想像できれば「人権」から大きく外れることはありません。しかし、人は時に、相手の気持ちを考えない言動をとってしまう弱い面をもっています。そんな弱い自分が出てこないよう一年365日、一日24時間いつも一緒にいる「自分」をまずよく知り、「自分」と仲良くなってください。そうすることで自分が好きになり、自分を大切に、ひいては、まわりの人も大切にできる人になれると思います。こうしたことをこの「人権週間」「人権月間」にぜひ考えてみてください。そして、家族のこと、友だちのこと、地域で出会う人たちのこと、遠くで苦しんでいる人のこと、近くで悩んでいる人にも、この機会に向き合ってほしいと願います。

また、今年新型コロナウイルス感染症に関連して、差別やいじめなど様々な人権問題の発生が心配されています。今や、感染する可能性は誰にでもあります。感染などを理由に誰かが受けている差別は、自分の身にも降りかかり得るものです。様々な人権問題について、「誰か」のことではなく自分のこととして捉え、考えられる人になっていってください。

〈校長〉



瀬戸市役所の話



先月、瀬戸市役所で会議があり、出かけた時の話です。エレベーターホールの平面図で指定された会議室を探していると、市役所職員のお一人に「どちらにご用ですか？」と声をかけられました。会議室名を伝えると、とてもわかり易くにこやかな対応で、「ありがとうございます」とお礼を言いながら、うれしい気持ちになったことを憶えています。

会議が終わり、役所内の通路を歩いていると、すれ違う職員の方々が、目を合わせて会釈をしてくれます。そのことから、瀬戸市役所の職員の皆さんが、来所者に対し、あたたかく丁寧に対応してみえることがわかりました。

困っている人への声かけや、にこやかな表情、さわやかな会釈で、相手の心を一瞬にしてつかむことができます。それは中学生の皆もできること。クラス・学年の仲間に、来校者の方に、先生に、応援してくれる地域の皆さんに、是非トライしてみてください。

新しい制服導入に向けて

11月のPTA委員会と生徒総会にて、伝えましたが、新しい制服の導入に向けて動き出します。令和4年度春から第3の制服の位置づけでの導入を考えています。

詰め襟、セーラー服を否定するものではありませんが、機能性高く、季節の変化や体調を考え、調整・選択できる制服、活動場面や目的を考え、生徒が主体的に選択できる制服を検討していきます。新制服導入は、東中学校のひとつの変革です。現在の在校生には、その変革に是非積極的に関わってほしいと願います。

今後、生徒・保護者の皆さんに意識・要望調査(アンケート)を行い、新制服のコンセプト、デザインなどを決めていきます。

ご理解と協力をお願いいたします。

イメージです →



個人懇談会 ありがとうございました



お忙しい中、そして寒い中、個人懇談会にお越しいただきありがとうございました。懇談が終わった後、おだやかな表情で仲良く帰って行かれる姿をたくさん目にしました。この2学期の成長やがんばり、これからさらに力をつけていってほしいことなどをしっかりお伝えできたのではと思います。もし正すべきことがあれば、それはご家庭と連携してサポートしてまいります。よろしくお願いたします。

ひとつ残念なことは、お車で来校される方がみえたこと。ご遠慮願いたいとお伝えしてありましたが、「大丈夫だろう」の感覚でしょうか、残念でしかたありません。子どもたちに範を示すは我々大人です。徒歩・自転車で、ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

新型コロナ 最強の感染防止策は



「全国で感染、特に市中感染が拡大している現状では、誰もが感染している可能性があります。いま一度、初心に立ち返って、“うつらない”だけではなく“うつさない”ことが大切であることも忘れないでください。特に若い世代、現役世代の皆さま。新型コロナの最強の感染防止策は、1人ひとりの、日常の慎重で愚直な所作と行動です。日本国民一丸となって頑張りましょう」。これは、9日ニュースで流れた日本医師会・中川会長の言葉です。**マスクの着用と丁寧な手洗い、「密」を避けること、十分な換気、そして相手やまわりの人たちのことを考えた行動**など、日常の中でできる最強の感染防止策をフルに発動させましょう。

うれしくなっ



9日夕方、校区内にお住まいの女性から学校にお電話をいただきました。「ウォーキングをしている途中、下校する生徒さんに『おかえりなさい』と声をかけると『ありがとうございます』『ただいま』とよく応えてくれ、今日は特に女の子たちが元気よくあいさつしてくれたので、うれしくなって電話しました。ほめてあげてください」といった内容です。

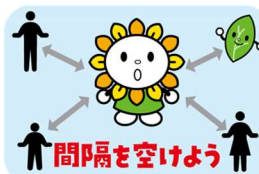
中学生と地域の方とのさわやかなやりとりが目に浮かびます。こうして生徒たちに声をかけてくださる方をはじめ、様々な場面で地域の皆さんに生徒たちは育てられていることを感じます。これからさらに、生徒たちは地域に対してできることを広げ、地域の皆さんと一緒に「うれしい」を増やしていってけると思います。

いろいろ変わります

感染症対策もあり、校内の随所でいろいろ変わってきています。まずは「ソープディスペンサー」。手をかざすと石鹸フォームが手のひらに出てくるものです。これからすべての手洗い場に設置されます。そして、「暖房便座」。これまで、冬場も冷たい便座で我慢していた東中の子たち。お待たせしました。これで少しは快適になると思います。次は、各教室に置かれた「加湿器」。冬場の乾燥を防ぎ、空気中に漂うウイルス・細菌を早く床に落とすことに効果があるようです。皆の健康を守り、快適な生活を支えるこれらのもの、大事にしていてくださいね。



With コロナ！！ 感染予防の3つの習慣！！



新しい生活様式

